



インコの独占インタビュー

10・6東京地裁裁判員裁判候補者Aさんの激白 最終回

明らかになった東京地裁の醜態…その全容



10月20日、インコはAさんに独占インタビューを敢行！

裁判員候補者は東京地裁に呼び出された中で、何を思い、何を見たのか？！そこから浮かび上がる問題
明かされた東京地裁の驚くべき醜態。衝撃の事実、最終回

-法廷見学以外に何かありましたか。

いろいろとつまらないものをくれますよ。裁判員制度とかなんとかボディに書かれた安物のボールペン、だれにも出せない絵はがき、裁判員制度と書かれたクリアファイル、りっぱなパンフレットのたぐい。こんなものにお金をかけるなんてどうかしています。

-販促品ですね。

同じ無駄遣いなら喜ばれる使い方をすればいいのに、例えばクロスのボールペンなら、まだ嬉しかったかも。

-そのクロスのボールペン、多分、「裁判員制度」って書いてありますよ。

絶対、いりません(笑)。

-日当も出るのですよね。

介護が必要だったり、小さい子をあずけるとかの場合、その施設を紹介されるだけで、費用は日当から出さなければなりません。だから大赤字です。しかも介護とかは、当日頼むなんて無理なので、かなり前から予約しないとダメですから裁判員に選出されるされないは関係なしに3日間、予約することになります。そして選出されなかったとキャンセルすると、キャンセル料もかかりますからね。

-その日当の振込でも問題があったとか。

ええ、振り込まれる期日に振り込まれず、どうしたのかと思っていたら、ミスがあったとかで、全員分が金融機関から東京地裁に返却されたそうです。

しかも第1回の裁判員候補者への振込も同じようにミスをしたということで、これで続けて2度のミスです。

-えっ？ 最初も失敗して今回もまた失敗ですか。

ええ、お金を取ることは慣れているけど、払うことには慣れていないのではないですかしら。

-しかし、それは学習能力がないということですね。

学習能力がないから、これだけ問題のある裁判員制度をいまだに続けようとしているのでしょうか。後、どれだけ失敗すれば学習するのでしょうか。

-大きな失敗と言えば酒井法子の起用ですかね。

法ピーが薬に走ったのは、裁判員制度のPRビデオに出たからだ、最初は思いましたね。模擬裁判でも裁判員の経験が苦しくて「薬でもやらなきゃやってられない」となったんじゃないかと(笑)。

-それだけ苦しいということですね。

私は裁判員制度に反対です。人は裁きたくありません。できる限り大運動にも協力したいと思います。

-ありがとうございました。

連続ドタバタ劇 「北の大地は大わらわ」 好評につき12月公演を目前に、11月公演開催決定！ 興行元・地祭
主題歌CDも好評発売中 問い合わせ先：最高祭

オープニング「北の大地に雪は降る」

雪は降る あなたは来ない

雪は降る 裁判は重い

むなしい夢 市民参加

インコは遊ぶ 裁判をフケる

あなたは来ない いくら呼んでも

人を裁きたくないというばかり

エンディング「裁判長の愁い」

ふけゆく市民は 裁判から

わびしき思いに ひとり悩む

脅して呼び出す それでも来はしない

制度がたどるは 破綻の路

ふけゆく市民は 裁判から

わびしき思いに ひとり悩む

「インコ通信第8号」でお送りした裁判ショー開幕直前の連続ドタバタ劇、火の国の2回上演に続き、北の大地でも好評につき、第2回上演決定！

札幌地裁では、12月の裁判ショーに80人を呼び出したけど、辞退希望者が4割近くも出ちゃって、あわてて、15人を追加選定したけど、その14人からも4人が辞退、呼び出し状が送付できたのは60人
このドタバタ12月裁判ショーの前公演、11月25日からはじまる裁判ショーにも57人へ呼び出し状を送ったのに、辞退希望者が多数に上ったため、11人を追加選定

裁判長は「こんなことなら最初から三桁を呼び出せばよかった」と言ったとか言わなかったとか…



